

2015年度入学生 修得単位の目安

1年生修了時	40単位
2年生修了時	80単位
3年生修了時	114単位
卒業単位数	124単位

授業科目について

1. 学科共通科目群

学科共通科目群では、第一外国語として英語を学ぶ。

Fundamentals of English ・ 、Oral Fluency ・ は必修科目である。

Fundamentals of English 、Oral Fluency を履修するためには、履修前提条件として、それぞれ を修得していなければならない。第二外国語において Bを履修するためには、 A を履修するためには B を、 を履修するためには を、 を履修するためには を修得していなければならない。

2. 基礎科目群

基礎科目群は、社会学および環境社会学を学び、専門科目につながる基礎知識の習得をめざす科目群である。

3. 専門科目群

専門科目群 は、環境保全や緑化・園芸技術について学び、自然との共生・緑の活用など、主に自然環境の観点から環境専門家に必要な知識・技術を習得するための科目群である。

専門科目群 は、フィールド教育（海外研修、インターンシップ）、プロジェクト研究、キャリア形成からなる実践・体験を通じて社会で活躍する力を養う科目群である。

4. 専門関連科目群

専門関連科目群（ビジネス）は、専門科目群で学んだ知識を社会で幅広く活用するために、ビジネスの知識や関連業界で役立つ技能などを修得する為の科目群である。

2015 年度入学生のカリキュラムについて

1. 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位数は、次の表に示すとおりである。

系列	学部・学科	環境社会学部 環境社会学科
		単 位 数
学科共通科目群（外国語・情報リテラシ）		1 2
基礎科目群		1 2
専門科目群		3 2
専門科目群		1 6
専門関連科目群（ビジネス）		4
指定された各科目群より修得した科目以外に選択必修		4 8
計		1 2 4

2. 各学年における標準的な修得単位

3年次に進級するためには、「キャリア形成演習 ・ 」及び1年次の必修科目を含め36単位以上修得していなければならない。

各学年における授業科目および修得単位数の目安は、次の表に示すとおりである。

学年	単位数の目安	
1年次	学科共通科目群（外国語・情報リテラシ） Fundamentals of English ・ Oral Fluency 情報メディア論 情報リテラシー 基礎科目群 社会学原論 専門科目群 キャリア形成 指定された各科目群より修得した科目以外に	2科目4単位（必修） 1科目2単位（必修） 1科目4単位（必修） 1科目4単位（必修） 1科目4単位（必修） 1科目4単位（必修） 2 2単位
修得単位数 40単位		
2年次	学科共通科目群（外国語・情報リテラシ） Fundamentals of English ・ Oral Fluency 専門科目群 園芸論 ガーデニング概論 専門科目群 キャリア形成 指定された各科目群より修得した科目以外に	2科目4単位（必修） 1科目2単位（必修） 1科目2単位（必修） 1科目4単位（必修） 2 8単位
修得単位数 40単位		
3年次	専門科目群 キャリア形成 指定された各科目群より修得した科目以外に	1科目4単位（必修） 3 0単位
修得単位数 34単位		
4年次	専門科目群 キャリア形成 指定された各科目群より修得した科目以外に	1科目4単位（必修） 6 単位
修得単位数 10単位		
卒業修得単位数 124単位		

2014年度入学生 修得単位の目安

1年生修了時	40単位
2年生修了時	80単位
3年生修了時	114単位
卒業単位数	124単位

授業科目について

1. 学科共通科目群

学科共通科目群では、第一外国語として英語を学ぶ。

Fundamentals of English ・、Oral Fluency ・ は必修科目である。

Fundamentals of English、Oral Fluency を履修するためには、履修前提条件として、それぞれ を修得していなければならない。第二外国語において Bを履修するためには、 Aを修得していなければならない。

2. 基礎科目群

基礎科目群は、社会学および環境社会学を学び、専門科目につながる基礎知識の習得をめざす科目群である。

3. 専門科目群

専門科目群 は、環境保全や緑化・園芸技術について学び、自然との共生・緑の活用など、主に自然環境の観点から環境専門家に必要な知識・技術を習得するための科目群である。

専門科目群（演習）は、フィールド教育（海外研修、インターンシップ）、プロジェクト研究、キャリア形成演習からなる実践・体験を通じて社会で活躍する力を養う科目群である。

4. 専門関連科目群

専門関連科目群（ビジネス）は、専門科目群で学んだ知識を社会で幅広く活用するために、ビジネスの知識や関連業界で役立つ技能などを修得する為の科目群である。

専門関連科目群（Global College）は、グローバル化する文化や社会、コミュニケーションのあり方を多様な切り口から学び、国際化社会に生きる人間としての教養を身につける為の科目群である。

5. 特設科目群

特設科目群は、本学科の専門分野の知見を深めたうえで、さらにグローバル化社会を担う人材となるために、語学実践力を養うことを目的とした科目群である。

2014 年度入学生 カリキュラムについて

1. 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位数は、次の表に示すとおりである。

系列	学部・学科	環境社会学部 環境社会学科
		単位数
学科共通科目群（外国語・情報リテラシ）		1 2
基礎科目群		1 2
専門科目群		3 2
専門科目群（演習）		1 6
専門関連科目群（ビジネス）		4
指定された各科目群より修得した科目以外に選択必修		4 8
計		1 2 4

2. 各学年における標準的な修得単位

3年次に進級するためには、「キャリア形成演習」及び1年次の必修科目を含め36単位以上修得していなければならない。

各学年における授業科目および修得単位数の目安は、次の表に示すとおりである。

学年	単位数の目安
1年次	学科共通科目群（外国語・情報リテラシ） Fundamentals of English ・ Oral Fluency 2科目4単位（必修） 情報メディア論 1科目2単位（必修） コンピュータ基礎論 1科目2単位（必修） 基礎科目群 社会学原論 1科目4単位（必修） 専門科目群（演習） キャリア形成演習 1科目2単位（必修） 指定された各科目群より修得した科目以外に26単位
修得単位数 40単位	
2年次	学科共通科目群（外国語・情報リテラシ） Fundamentals of English ・ Oral Fluency 2科目4単位（必修） 専門科目群 園芸論 1科目2単位（必修） ガーデニング概論 1科目2単位（必修） 専門科目群（演習） キャリア形成演習 1科目2単位（必修） 指定された各科目群より修得した科目以外に30単位
修得単位数 40単位	
3年次	専門関連科目群（ビジネス） ビジネスマナー 1科目2単位（必修） 専門科目群（演習） キャリア形成演習 1科目2単位（必修） 指定された各科目群より修得した科目以外に30単位
修得単位数 34単位	
4年次	専門科目群（演習） キャリア形成演習 1科目2単位（必修） 指定された各科目群より修得した科目以外に8単位
修得単位数 10単位	
卒業修得単位数 124単位	

2012・2013 年度入学生 修得単位の目安

1 年生 修了時	4 0 単 位
2 年生 修了時	8 0 単 位
3 年生 修了時	1 1 4 単 位
卒 業 単 位 数	1 2 4 単 位

授業科目について

1 . 学科共通科目群

学科共通科目群 では、第一外国語として英語を学ぶ。

Fundamentals of English ・ 、Oral Fluency ・ は必修科目である。

Fundamentals of English 、Oral Fluency を履修するためには履修前提条件として、それぞれ を修得していなければならない。第二外国語において Bを履修するためには、 Aを修得していなければならない。

学科共通科目群 は、「 . 卒業に必要な単位について」で示された所定の単位数以上を修得するために、科目を履修し、卒業要件を満たさなければならない。

2 . 基礎科目群

基礎科目群は、社会学および環境社会学を学び、専門科目につながる基礎知識の習得をめざす科目群である。

3 . 専門科目群

専門科目群 は、地域社会や福祉社会について学び、地域の人々の暮らしなど、主に社会環境の観点から環境専門家に必要な知識・技術を習得するための科目群である。

4 . 専門科目群

専門科目群 は、環境保全や緑化・園芸技術について学び、自然との共生・緑の活用など、主に自然環境の観点から環境専門家に必要な知識・技術を習得するための科目群である。

5 . 専門関連科目群

専門関連科目群は、専門科目群で学んだ知識を社会で幅広く活用するために、ビジネスの知識や関連業界で役立つ技能などを修得する為の科目群である。

2012・2013 年度入学生 カリキュラムについて

1. 卒業に必要な単位について

卒業に必要な単位数は、次の表に示すとおりである。

系列	学部・学科	環境社会学部	環境社会学科
		単位数	
学科共通科目群 (外国語・情報リテラシ)		1	2
基礎科目群		1	2
専門科目群		1	6
専門科目群		1	6
専門関連科目群		8	
演習科目群		1	2
指定された各科目群より修得した科目以外に選択必修		4	8
計		1	24

2. 各学年における標準的な修得単位

3年次に進級するためには、「キャリア形成演習」及び1年次の必修科目を含め36単位以上修得していなければならない。

各学年における授業科目および修得単位数の目安は、次の表に示すとおりである。

学年	単位数の目安	
1年次	学科共通科目群 (外国語・情報リテラシ)	
	Fundamentals of English ・ Oral Fluency	2科目 4単位 (必修)
	情報メディア論	1科目 2単位 (必修)
	コンピュータ基礎論	1科目 2単位 (必修)
	基礎科目群	
	社会学原論	1科目 4単位 (必修)
	社会調査法	1科目 2単位 (必修)
	専門科目群	
	ガーデニング実習	1科目 2単位 (必修)
	演習科目群	
キャリア形成演習	1科目 2単位 (必修)	
修得単位数 40単位	指定された各科目群より修得した科目以外に	22単位

学年	単位数の目安
2年次	学科共通科目群（外国語・情報リテラシ） Fundamentals of English ・ Oral Fluency 2科目4単位（必修） 専門科目群 循環型社会形成論 1科目2単位（必修） 地域福祉論 1科目4単位（必修） 現代社会と福祉 1科目4単位（必修） 専門科目群 園芸論 1科目2単位（必修） 園芸療法論 1科目2単位（必修） ガーデニング概論 1科目2単位（必修） ガーデニング実習 1科目2単位（必修） 専門関連科目群 ビジネスマナー 1科目2単位（必修） 演習科目群 キャリア形成演習 1科目2単位（必修）
修得単位数 40単位	指定された各科目群より修得した科目以外に14単位
3年次	専門科目群 園芸療法実習 1科目2単位（必修） 演習科目群 キャリア形成演習 1科目2単位（必修）
修得単位数 34単位	指定された各科目群より修得した科目以外に30単位
4年次	演習科目群 キャリア形成演習 1科目2単位（必修）
修得単位数 10単位	指定された各科目群より修得した科目以外に8単位
卒業修得単位数 124単位	

Global College 科目群

Josai Global College では、学生のみなさんが学びたい科目を英語で学ぶことができます。また、本学の学生は誰でも好きな科目を履修することが可能です。Josai Global College は、日本に居ながら英語で多様な知識と教養を身につけることができる、革新的な学びの場を提供します。

城西国際大学は、その名にふさわしく、あらゆる学生に国際的な環境を提供しています。学生は日本だけではなく、本学の提携大学があるカナダ、中国、チェコ、フィンランド、フランス、ドイツ、韓国、ハンガリー、ノルウェー、ポーランド、スペイン、アメリカなど、世界中から集まっています。このような国際的な環境の中で、学習者は互いに高め合い、国際感覚を身につけることができるようになっていきます。

また、本学ではクラスの中だけではなく、クラスの外でも教員と学生が日常的に交流しながら学ぶという、大変親しみやすい環境を作り上げています。Josai Global College もその例外ではありません。多様な国々の人たちと研究・教育活動をともにすることで視野を広め、国際的なバランス感覚を養うことができます。

東京紀尾井町キャンパス開講科目を受講する学生を対象に東金キャンパスから特別に往復のシャトルバスを運行、安房キャンパスへはサテライト配信をしますので観光学部の学生も履修可能です。

2015 年度開講科目

科目名	開講 キャンパス	科目名	開講 キャンパス
Introduction to Japanese Literature	紀尾井町	Modernism in Architecture	紀尾井町
Japanese Literature in Translation a	紀尾井町	The Cityscape Worldwide	紀尾井町
Japanese Literature in Translation b	紀尾井町	Business and Society	紀尾井町
Modern American Literature	紀尾井町	Global Logistics	紀尾井町
Japanese Art and Literature	東金	International Finance	紀尾井町
Samurai Tradition in Edo Culture	紀尾井町	International Marketing	紀尾井町
Haiku in the World	紀尾井町	Introduction to Database Theory	紀尾井町
Kamishibai as a Medium of Entertainment, Education, and Propaganda	紀尾井町	Introduction to Global Management	紀尾井町
Japanese Art & Museum Management	紀尾井町	Strategic Management	紀尾井町
Tradition in Contemporary Japan	紀尾井町	Introduction to Tourism	安房
Theory of Acculturation: Minorities in Japan	東金	International Tourism Special Session	安房
Japan and Asia	紀尾井町	Asia Tourism Studies	安房
ASEAN and Japan a	紀尾井町	Methodologies of Cultural Observation: Travel and Dialogue	紀尾井町
ASEAN and Japan b	紀尾井町	Introduction to Social and Environmental Studies	東金
ASEAN and Japan c	紀尾井町	Ecology Policy	東金
Europe and Japan a	紀尾井町	Environmental Issues & Technology	紀尾井町
Europe and Japan b	東金	Introduction to Health Science	東金
Europe and Japan c	紀尾井町	Safety of Food and Environmental Chemicals	東金
European Art a	紀尾井町	Japanese to English Translation	紀尾井町
European Art b	紀尾井町	International Administration I (Fundamentals of Management)	紀尾井町
European Art c	紀尾井町	International Administration II (International Understanding)	紀尾井町
Cinema Studies	紀尾井町	International Administration III (Fundamentals of Thesis Writing)	紀尾井町
Japanese Film and Visual Art	紀尾井町	International Administration IV (Social Research, Design, Evaluation)	紀尾井町
Japan-U.S. Film Comparative Research	紀尾井町	Policy Studies V (NGO/NPO Policy)	紀尾井町
Representations of France in Films	紀尾井町	International Studies I (International Organizations)	紀尾井町
Representations of Paris in Films	紀尾井町	International Studies VI (International Economics)	紀尾井町
Film Industry in Hollywood	紀尾井町	Corporate Studies IV (Corporate Governance)	紀尾井町
Reading Comics in English	紀尾井町	Tourism III (Hospitality Management)	紀尾井町
Animation	紀尾井町	Tourism (International Development Policy)	紀尾井町
Sound Design	紀尾井町	Case Studies V (Development of Tourism Sites)	紀尾井町
World Civilization	紀尾井町	Japanese-English Translation I: Culture	紀尾井町
Globalization and Multiculturalism	紀尾井町	English Language Structure Analysis	紀尾井町
Gender and Culture	紀尾井町	Foundations of English Language Teaching	紀尾井町
Gender and Language	紀尾井町	Curriculum and Materials Design I	紀尾井町
Women in Asia	東金	Curriculum and Materials Design II	紀尾井町

リベラルアーツ&サイエンス科目群

リベラルアーツ&サイエンス(LAS)センターは、本学の建学の精神に基づく人格形成、幅広い教養や知識の習得、専門分野での学業に役立つ問題意識の育成、社会人として求められる基礎能力の向上等を主たる目標として掲げています。

学生の皆さんにも、こうした問題意識をもって科目履修をしてもらうために、学部・学科ですでに開講している科目を“人格形成領域”“一般教養領域”“基礎能力領域”という3領域に大きく分けて整理し直し、「リベラルアーツ&サイエンス科目群」として特別に提示しています。各々の領域は、

人格形成領域：「地球と環境」「人間と思想」「国家と規範」「倫理と社会」
「社会とジェンダー」という5テーマ

一般教養領域：「人類のあゆみ」「文化のかたち」「社会と経済」「健康と福祉」
という4テーマ

基礎能力領域：「非言語分野」「言語分野」「ビジネスマナー」「プレゼンテーション」
という4テーマ

に分けてまとめてあります。いずれも、学生の皆さんが就職して社会へ出る準備をするうえで重要とされるテーマです。

これらに加えて、LASセンターが特に力を入れたい分野・テーマについては独自の科目として開講し、さらに必要に応じて開講するサマースクール等も「総合基礎教養 ~ 」として単位認定します。LASセンターが独自に開講するこれらの科目は、すべて1~4年次のいずれかで履修することができます。

「リベラルアーツ&サイエンス科目群」を履修して修得した単位は、30単位を限度として申請により、学部・学科の各科目群に振り替えることができます。「リベラルアーツ&サイエンス科目群」の履修や内容についての質問、学業に係わる相談等は、LASセンターにて随時受け付けています。